



出会いは食パンとともに

M「やっぱり人生に愛は不可欠。ヤングなお年頃のみなさまは、きっと好きなものがいっぱい困っていることでしょう。てなわけで何度やっても大人気『恋』『恋愛』をテーマにお届けします! さ、YA 担当の恋愛事情は？」

F・T「・・・」

M「あ、なんかゴメン。・・・では気を取り直して、理想の出会い方とかどう？」

T「食パンくわえて走って…曲がり角でぶつかって」

F「教室にたどり着いたら『転校生を紹介する』って現れた人が」

M「『あーっさっきぶつかった失礼なアイツ!』ってやつ? え、それに憧れてるの!？」

T「本当にあったらどうかなと」

F「現実の場合、ぶつかった相手の服に食パンのジャムがべったり付き、クリーニング代を要求されるのです」

M「『何? 払えないだと? だったら売り飛ばしてやる!』と遊郭に売られ、『食パンをくわえて走っただけなのに〜転落人生編〜』の完成よ!!」

F「いや、遊郭って何時代ですか」

M「ちょっと大河ドラマ見て。べらぼうめ!」

T「・・・そうじゃなくて! ぶつかった相手が実は御曹司、みたいなのがいいです」

M「ははーん。ぶつかった時には気づかなかったけど、教室で転校生として現れたイケメン御曹司が『あ、昔おとなりに住んでたたっくん(仮名)じゃない?』っていうやつね」

F「なんだか内容が盛られてますけど」

T「幼なじみはいないのでそのくだりは要らないです」

M「じゃあ、食パンくわえて就活中にぶつかったイケメン御曹司がお詫びにと自分の会社に採用してくれて、地味に事務してたら数か月後に社長秘書に辞令が出るってやつ?」

F「妄想大爆発のシンデレラストoryですね」

M「そもそも御曹司ってそんな簡単に一般市民と出会うのかしらね?」

F「出会いはいつも突然に♡なんですよ」

T「・・・私、前に M さんに教えてもらったワイルドストロベリーを育てることにしたんです」

M「え? ウン十年前に大ブームのアレを!？」

F「実がなったら彼氏ができるとい!？」

T「・・・芽が出ました」

M「まじか」

F「T ちゃん本気ですネ。」



←QR コードでも
アクセスできます

インスタグラム公開中 ここにアクセスしてね★

<https://www.instagram.com/hondarake55>

ホンダラケ

2025.6.1

ラフラブ♡きゅんきゅん

推し活キュン活ときめきは太忙し。
好きって気持ちを大切に。

『王と后』 深山くのえ/著 小学館 2022 年刊



F/ミヤ

天羽淡雪^{あもうあゆさ}は天羽家の巫女として、王家に嫁ぐことになる。赤い髪の新王・一領鳴矢^{いちみねなりや}と初めて顔を合わせたものの、この国のしきたりで二人は触れることも話すことも禁じられている。遠くの物事を見ることができる特別な力を持つ淡雪は、その力を使って鳴矢の行動をのぞき見たところ、彼のつぶやき「かわいくって…惚れたんだよ」。どうやら一目ぼれされてしまったよう。后と王との禁断の恋の行方はどうなる!? 夫婦だけど、恋はこれから。

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA (ヤングアダルト) コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「本屋大賞」

タイトルは知っているけれど読んだことがないものも意外とあるのでは？
ぜひ、チェックしてみてくださいね！

『ゴールデンスランバー』 伊坂幸太郎／著 新潮社 2007年刊



F/イサ

仙台市のパレードで首相が突然暗殺された。その暗殺の犯人に仕立て上げられた宅配便の運転手、青柳雅春。一人ではどうすることもできない策略から逃げることはできるのか？ いろんな人の助けをかりて、自分の運命を変えようとする、主人公の姿に心を動かされます。ちょっとした会話が伏線になっていて一瞬たりとも目が離せない魅力的な作品です。

P.N. アリ(高校2年生)

「こんな本、棚から見つけました」のコーナー

このコーナーでは、スタッフが棚を見て「再発見」をした本を紹介します

『言葉なんていない？』 古田徹也／著 創元社 2024年刊

「好き」。どんなふうによ？ どれくらい？ 気持ちが強ければ強いほど「言葉にできない」という思いに駆られます。それでも私たちは、言葉を使わずに暮らしていくことはできません。だからこそ、「言葉って何？」を考えてみるのが大切です。その考え方をこの本はサポートしてくれます。言葉がどのように使われてきたのか、「そういえば、そうだ！」という気づきがたくさんあります。そして、これから私たちが言葉とどのように付き合っていくのがよいか、丁寧に導いてくれます。



801.0/24

新着図書 Pick Up

『妖鳥魔獣物語』 廣嶋玲子／著 まくらくらま／絵 小峰書店 2025年刊

タイトルの通り、妖鳥や魔獣がたくさん出てくる作品。真っ赤なうぐいす、鹿の角を生やした踊り子、不気味な猛獣などなど。そんな動物たちに人々は魅了されたり囚われたり、怯えたり…いろんな恐怖につつまれた結末を迎えます。ホラーチックなストーリーのなかで描かれるあざやかな挿し絵は物語への解像度をどんどん高めていってくれますよ。気がつけば、妖鳥魔獣たちに魅入られて戻れなくなっているような、ゾッとするような、こわい話がつまった一冊です。

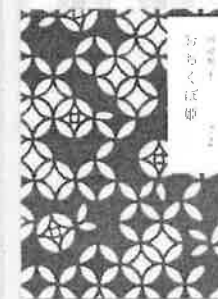


F/ヒロ

難しいと思われているけれど、実は面白い名作があるから読んでみてほしいんです。

『おちくぼ姫』 田辺聖子／著 KADOKAWA 1990年刊

いじわるな継母に冷遇され、お屋敷の端っこの部屋で暮らす「おちくぼの君」と、巷で人気の青年貴族「右近の少将」と藤原道頼、ふたりの恋を描いた作品です。日本のシンデレラ物語といわれる『落窪物語』を現代風に、読みやすく、おもしろさが伝わりやすく書かれています。軽快で思わずクスッと笑ってしまう著者の言葉づかい、彼らの純愛と胸キュンいっぱい恋模様をとっても魅力的にみせてくれています。ぜひ、YA世代のみんなにも読んでほしい平安ラブストーリーです。



F/タナ